

調達機能としての価値発揮の力を強化する

調達担当者のための 調達物流知識習得セミナー

開催日時 **2026年 6月17日(水)** **2027年 3月 4日(木)** **オンライン** **オンライン** 各回とも 10:00~16:30

対象 **・全体最適の視点で、調達と物流ロジスティクスを合わせて強化を図りたい調達担当者の方々**
・グローバル調達を担当される調達担当者の方々

講師 **八島 俊彦 氏**
SSMリサーチ 代表

参加料(税込) 法人会員：60,500円/1名
会員外：77,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

“2024年問題のその先へ。運べないリスクを回避するには？”

調達物流は、調達品の入手性、コスト上昇やリードタイム延伸などの調達条件の悪化といった問題に大きく関わります。

ところが、日本ではサプライヤーが指定納入場所へ輸送する取引が一般的であり、バイヤー自身は調達物流を直接ハンドルしないのが通常、という時代が続き、調達物流には間接的な関わりしかないという企業も少なくありませんでした。

近年、いわゆる「2024年問題」が大きな問題として注目を集めました。結果としては需給の状況や関係者の努力により、想定より小さな影響で済んだと言われていますが、物流現場の人手不足は、いまや一過性の問題ではなく「構造的な課題」です。

今後、物流がボトルネックとなり調達に支障をきたす可能性は大きいと見られる中、これからのバイヤーには、**供給責任を果たすために「物流までを含めて調達をデザインする力」**が必要です。

本セミナーでは、物流の基礎からリスク回避のための具体的な施策立案まで実践的な「調達物流」のスキルを磨きます。

参加者の声

- 資料の見せ方、説明の仕方がお上手で、ひきこまれました。内容もバイヤーが関心を持ってそうなものが多く参考になりました。
- 調達として知っておきたい物流の知識を解説いただけました。わかりやすかったです。
- 物流における基礎的なことや実例も交えて説明いただけただので、内容の理解がしやすかった。物流を取り巻く現状や費用面も数値やグラフで表現されていたので、納得感があつた。
- 具体例がいろいろあつたのがよかったのと、参加者を巻き込んでもらったのがよかったです。
- 経験談も踏まえながらご説明いただいたので、内容に説得力があつた。

■ プログラム

10:00~16:30 [昼食] 12:00~13:00

1 物流と調達の関わりを押さえる

- 国際調達における物流
- 国内調達における物流
- 調達にとっての物流

2 物流とは何かを知る

- 物流業界の現況 - 2024年問題の先-
- 物流、ロジスティクス、SCM
- 物流の6大機能
- 物流コスト
- 物流業務委託
- 物流起因のリスク

3 調達に関係する物流事象を理解する

- グローバル調達における物流
- 国際物流
- コンテナ輸送
- インコタームズ
- モード・ルート選択の工夫

4 調達におけるトータルコスト低減のための物流施策

- トータルコスト低減のための物流施策
- 調達物流の打ち手
- ミルクラン
- 集荷センター
- VMI
- クロスドッキング
- バイヤーズコンソリデーション
- 物流費低減のための施策

5 調達におけるこれからの物流施策

- 物流と環境
- 物流を中心に考えたオペレーション
- 新世代テクノロジー
- フィジカルインターネット

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

